

キャリア形成支援プログラム※の現状

※キャリア形成支援プログラムとは、インターンシップをはじめ、オープン・カンパニー、キャリア教育を含むキャリア形成支援に係る取り組みの総称を指す

企業の73.1%が2025年卒向けに実施

次に、インターンシップをはじめとしたキャリア形成支援プログラムの実施・参加状況を見る。

2025年卒の学生が2023年度に参加するものからインターンシップ等に関する考え方が変わり、「タイプ1：オープン・カンパニー」「タイプ2：キャリア教育」「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」「タイプ4：高度専門型インターンシップ」の4つに類型化され、そのうち、タイプ3とタイプ4の2つのみが「インターンシップ」と呼称できることとなった(表①)。

これらのキャリア形成支援プログラムの2025年卒学生の参加率は73.6%で、平均参加社数は5.64社であった。経年比較すると、参加率は直近3年間は7割台前半と横ばいで、平均参加社数は減少傾向にある(P27・グラフ②)。

一方、企業の2025年卒向けキャリア形成支援プログラ

ムの実施率は73.1%で、前年(74.8%)から微減した(P27・グラフ③)。

タイプ別の実施率は、「タイプ1：オープン・カンパニー」が82.8%で最も高く、次いで、「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」(28.0%)、「タイプ2：キャリア教育」(24.4%)であった(P27・表④)。

また、キャリア形成支援プログラムと採用選考の関係について学生に聞いたところ、「採用選考とまったく関係がなかった」は9.8%、「分からない」は7.9%で、82.2%が採用選考との何かしら関係を認識していた(P27・グラフ⑤)。

一方、企業において、採用数に自社のキャリア形成支援プログラム参加者が占める割合の平均値は33.2%であった(P27・表⑥)。前年(平均値 34.6%)から微減したが、平均して採用数の約3割であることに変わりはない。なお、従業員規模別に見ると、前年同様、「300人未満」企業と「5,000人以上」企業の平均値が他規模に比べて高かった。

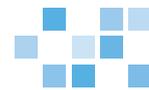
① 学生のキャリア形成支援における産学協働の取り組みの全体像

- タイプ1~4はキャリア形成支援の取り組みであって、採用活動ではない。
学生は改めて採用選考のためのエントリーが必要
- タイプ3ならびにタイプ4のみ、取得した学生情報の採用活動への活用は、「採用活動開始以降に限り、可」

類型	タイプ1 オープン・カンパニー ※オープン・キャンパスの企業・業界・仕事版	
対象	年次不問	
主たる目的	学生	企業・業界・仕事を具体的に知る
	大学／企業	企業・業界・仕事への理解促進

類型	タイプ2 キャリア教育 (ブレ・インターンシップを含む)	タイプ3 汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4 高度専門型インターンシップ ※試行結果を踏まえ、今後判断
対象	年次不問	学部3・4年、修士1・2年、博士課程学生	修士課程、博士課程学生
主たる目的	学生	自らのキャリア (職業観・就業観) を考える	自らの専門性を実践で活かし、向上させる (実践研究力の向上等)
	大学／企業	能力開発／キャリア教育	マッチング精度向上／採用選考を視野に入れた評価材料の取得

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書を基に就職みらい研究所にて作成

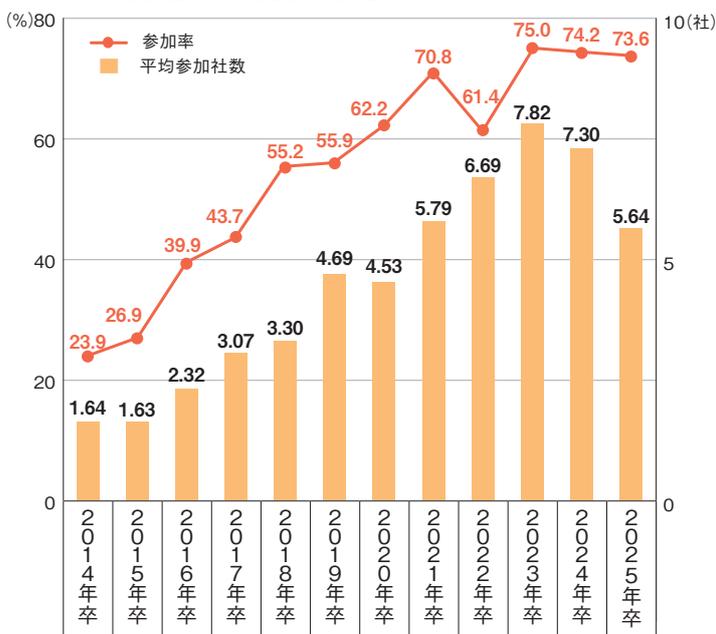


学生

キャリア形成支援プログラムへの参加率は直近3カ年は横ばい。平均参加社数は減少

2 キャリア形成支援プログラムの参加率※1、平均参加社数※2

※1 学生全体／単一回答
※2 キャリア形成支援プログラム参加者／数値回答



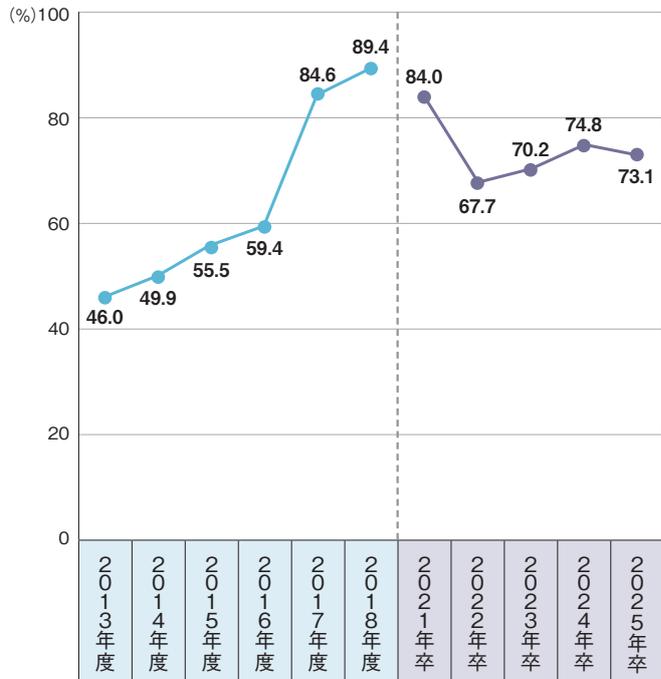
※「キャリア形成支援プログラム」は「インターンシップ、オープン・カンパニー（企業が主催するイベント・説明会など）、キャリア教育（大学や企業による教育プログラムなど）」である旨を明示して聴取している
※2014年卒～2022年卒は「インターンシップ」、2023年卒～2024年卒は「インターンシップ・1day 仕事体験」として聴取

企業

キャリア形成支援プログラムの実施率は微減

3 キャリア形成支援プログラムの実施率

※全体／単一回答



※2013年度～2018年度は「インターンシップ」、2021年卒～2024年卒は「インターンシップ・1day 仕事体験」として聴取

企業

「タイプ3：汎用的能力・専門活用型インターンシップ」実施企業は28.0%

4 タイプ別キャリア形成支援プログラムの実施率

※2025年卒対象のキャリア形成支援プログラム実施企業／複数回答

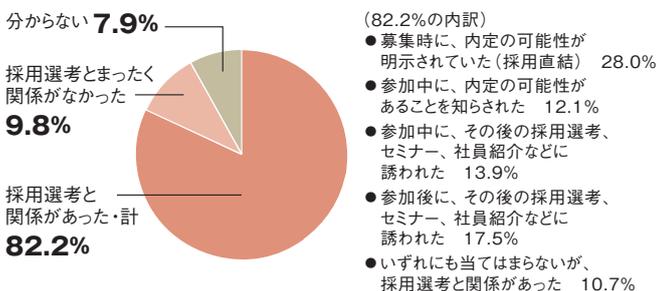
n	【タイプ1】 オープン・カンパニー	【タイプ2】 キャリア教育	【タイプ3】 汎用的能力・専門活用型 インターンシップ	【タイプ4】 高度専門型インターンシップ	タイプ区分は意識せずに 実施
1,078	82.8%	24.4%	28.0%	2.5%	8.1%

学生

82.2%が、キャリア形成支援プログラムと採用選考との関係を認識

5 キャリア形成支援プログラムと採用選考の関係

※キャリア形成支援プログラム参加企業・各種団体等への入社予定者／単一回答



企業

採用数のうち、平均33.2%が自社のキャリア形成支援プログラム参加者

6 採用数における自社キャリア形成支援プログラム参加者の割合

※該当卒年採用実施かつ該当卒年対象キャリア形成支援プログラム実施企業／数値回答

	2025年卒		2024年卒	
	n	平均値	n	平均値
全体	832	33.2%	869	34.6%
従業員規模別				
300人未満	202	36.3%	222	44.0%
300～999人	321	32.6%	336	33.7%
1,000～4,999人	238	32.3%	240	33.1%
5,000人以上	66	34.6%	68	36.8%

※2024年卒はキャリア形成支援プログラムを「インターンシップ・1day 仕事体験」として聴取

Part 1
労働供給制約社会という重要課題

Part 2
就職活動・採用活動の振り返りと見直し

Part 3
働く個人から選ばれる組織づくり